

パラリンピック競技について 知る、体験する、考える取組を オリンピック・パラリンピック教育推進校で実施します！

10月版

横浜市では、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成の一環として、市立学校へアスリートを招へいし、スポーツ振興を図るなど、次世代を担う子どもたちへのレガシーを遺すための取組を行っています。

今回、オリンピック・パラリンピック教育推進校において、パラアスリートによる講演・体験、ゆるスポーツ体験などを実施しますので、ぜひ取材をお願いします。

※取材にお越しいただく際は、新型コロナウイルス感染防止対策にご協力をお願いいたします。

オリンピック・パラリンピック教育推進校

スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」において、モデル校として年間を通じて重点的にオリンピック・パラリンピック教育を実施する学校。令和2年度は市内31の小・中・高・特別支援学校が選定されています。

プログラム及びスケジュール

■ゆるスポーツ体験

ゆるスポーツとは、年齢・性別・運動神経にかかわらず、だれでも楽しめる、「世界ゆるスポーツ協会」の進める新しいタイプのスポーツです。本プログラムでは、横浜ゆるスポーツ協会と一緒に、ゆるスポーツの体験と、さらにどのような工夫をするとより楽しめるかを考えます。

日時 10月5日（月）10:45～12:15 6日（火）8:45～12:15

場所 城郷小学校（港北区鳥山町814）

■支える人を知るプログラム

パラアスリートと、パラアスリートを「支える人」をお招きして講演会を実施します。

今回は、パラトライアスロン選手の米岡聡さんと、ガイドとして支える椿浩平さんのお二人にお話を伺います。

日時 10月7日（水）10:40～11:25

場所 万騎が原小学校（旭区大池町66）

■パラアスリートによる講演及びブラインドサッカー体験

ブラインドサッカー元日本代表の落合啓士さんをお招きし、講演とブラインドサッカー体験会を行います。

日時 10月8日（木）9:35～12:15

場所 神奈川小学校（神奈川区東神奈川2-35-1）

【講師紹介】

《支える人を知るプログラム》

椿 浩平 (つばき こうへい) 氏

三井住友海上所属。トライアスロンでオリンピック出場を目指しながらジュニア時代から活躍。2015年アジアカップ大阪大会優勝、2015年日本選手権3位。2016年に髄芽腫を発症し大変な闘病生活を乗り越え2018年にレースに復帰し日本選手権にも出場。2019年より同所属先であるパラトライアスロン米岡選手のガイドとしても活動を始め国際レース強化合宿に帯同。



米岡 聡 (よねおか さとる) 氏

三井住友海上所属。10歳時に網膜剥離を発症し、現在は左眼のみ光を感じる程度の視力が残る。20歳からブラインドマラソンを始め、JBMAの強化選手に入る。2018年頃から本格的にパラトライアスロンを始め、現在はパラオリンピック出場を目標にトレーニングに励む。

《パラアスリート講演及びブラインドサッカー体験》

落合 啓士 (おちあい ひろし) 氏

横浜生まれのブラインドサッカー選手。日本代表の背番号10を背負いチームをけん引してきた。2010年横浜で神奈川県初のブラインドサッカーチーム buen cambio Yokohama を設立。



【取材について】

市民局オリンピック・パラリンピック推進課までご連絡ください。

横浜市では、今後も次世代を担う子どもたちへのパラリンピック競技普及啓発など、共生社会の実現に向けた取組を行っていきます。

＼ウェブサイト・ツイッター・インスタグラムで情報発信中！／



アカウント名
@tokyo2020_ykkm



アカウント名
@tokyo2020_yokohama

WEB:東京2020大会横浜市ウェブサイト

Twitter:横浜市東京2020情報

Instagram:横浜市東京2020情報

お問合せ先

市民局オリンピック・パラリンピック推進課担当課長 田中 礼子 Tel 045-671-4585